

SHIRAKOBATO

しらこぼ



SOCIETY OF JAPAN・SAITAMA

1987. 7

WILD BIRD



NO. 38

日本野鳥の会 埼玉県支部

会員の力を結集して

昭和62年度（第3回）総会

昭和62年6月7日、熊谷市の埼玉県熊谷福祉センターにおいて、昭和62年度（第3回）総会が開催され、日本野鳥の会埼玉県支部の活動が、これからもすべての会員の力を結集して進められるように、活発な議論が交わされた。

午後1時 受付開始

午後1時30分～2時20分 記念講演 森下強
本部企画事業部長 「思いつくまま鳥の話」

午後2時20分～2時40分 スライド映写
1年間の支部の歩みとバードソン

午後2時40分～4時30分 総会

総合司会 楠見邦博

開会の挨拶 海老原美夫 副支部長

来賓挨拶 森下 強 本部企画事業部長

議長 北川慎一

書記 榎本秀和

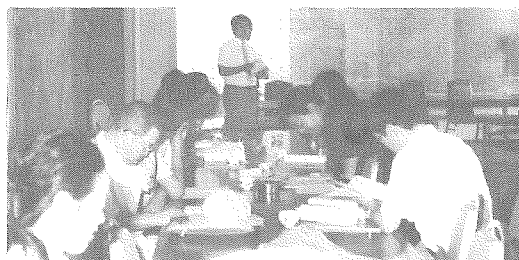
議事録署名人 新井清子 福井恒人

第1号議案 昭和61年度事業報告の承認

第2号議案 昭和62年度事業計画（案）の承認

第3号議案 昭和61年度収支決算書の承認

監事（堀越照雄、石川敏男）を代表して、



堀越照雄監事から会計監査報告

第4号議案 昭和62年度収支予算書（案）の承認

第5号議案 昭和62年度役員の選出

新役員を代表して松井昭吾新幹事が挨拶

第6号議案 規約の改正承認（改正部分是新会員制度への移行に伴う変更と、それに基づく文言の訂正が主なもの。改正後の規約を希望する方は、60円切手を貼った返送用封筒を同封して事務局までご請求を）

自由討論 バードソン報告

来賓挨拶 宮崎章次 秩父愛鳥会会長

閉会の挨拶 今井昌彦 支部長

この日の気温 35.9℃ あっつう。



昭和61年度の探鳥会は、合計66回、延べ参加者数2,872人

昭和62年度役員

総会とそれに続いた役員会において、次の通り選出。（〔新〕は新任）

支 部 長 今井 昌彦（熊谷市）
副支部長 田村 照治（寄居町）
鈴木 忠雄（熊谷市）
海老原美夫（浦和市）
幹 事 新井 清子（寄居町）
今井 明巨（熊谷市）
榎本 秀和（鴻巣市）
小淵 健二（深谷市）
北川 慎一（本庄市）
草間 和子（浦和市）
〔新〕 黒田 佳子（新座市）
楠見 邦博（浦和市）
小荷田行男（浦和市）
〔新〕 鈴木加代子（熊谷市）

中島 康夫（蓮田市）
〔新〕 乗田 実（上尾市）
長谷きみ子（富士見市）
福井 恒人（浦和市）
藤原 寛治（志木市）
〔新〕 松井 昭吾（大宮市）
森本 國夫（大宮市）
山部 直喜（越谷市）
〔新〕 渡辺 周司（大宮市）
監 事 堀越 照雄（熊谷市）
石川 敏男（春日部市）

前年度まで役員として活躍された小久保隆福（川本町）、西城戸司（浦和市）、萩原正二（上里町）、増田裕（和光市）の4人の方は、今年は退任ということになりました。大変ご苦労さまでした。

昭和61年度決算額と62年度予算額

収 入 の 部

項 目	61年度決算額	62年度予算額
繰 越 金	1,287,468	1,761,491
繰 越 在 庫 品	140,445	119,976
会 費	1,270,350	1,300,000
寄 付 金	255,583	250,000
探鳥会等参加費	105,031	100,000
指 導 謝 礼 金	172,850	170,000
雑 収 入	51,978	50,000
事業部売上金額	712,910	800,000
期 末 棚 卸 高	119,976	120,000
合 計	4,116,591	4,671,467

支 出 の 部

項 目	61年度決算額	62年度予算額
什 器 備 品	39,500	50,000
消 耗 品	15,150	20,000

支部報印刷費	530,920	800,000
印刷コピー代	105,900	120,000
支部報送料	442,090	500,000
通 信 費	100,220	100,000
交 際 接 待 費	31,100	50,000
雑 費	87,782	100,000
総務部費用	32,060	40,000
普及部費用	43,230	90,000
編集部費用	24,960	30,000
研究部費用	27,530	30,000
事業部仕入額	532,427	600,000
事業部費用	29,170	30,000
期首棚卸高	140,445	119,976
予 備 費	0	200,000
仮払金繰越分	52,640	60,000
繰 越 金	1,761,491	1,611,491
繰 越 在 庫 品	119,976	120,000
合 計	4,116,591	4,671,467

バードソン1987の報告



埼玉N T Tチーム：中島康夫（キャプテン）・福井恒人・藤原寛治・海老原美夫・金井祐二（支援運転者）

5月30日午後4時、浦和駅西口前は時ならぬ人々の群れにうめつくされ、盛大なバードソン出発式が挙行された。というほどではないけれども、スポンサーのN T T埼玉支部の人たち、埼玉新聞社、テレビ埼玉の取材陣もちゃんとそろって、『しらこぼと』袋づめの会からかけつけた会員たちにおくられて、わが埼玉N T Tチームは出発した。

午後5時、大宮市の深作沼で観察開始。蓮田市、加須市と観察を続け、暗くならないうちにと渡良瀬遊水池へと車を走らせた。

近くのうなぎ屋で空腹を満たしたあとも、また渡良瀬遊水池に戻り、暗闇のなかで耳を澄ませ、種類数を増やそうとがんばる。

奥日光戦場ヶ原に着いたのが午後12時近く。マツタケから借用したボンゴのなかで、男5人が仮眠をとる。全く色気のない、異様な世界。しかもひどいびきが1人。まいったなあ。

午前3時30分戦場ヶ原を歩き出す。ホオアカ、ノビタキ、キビタキ、コマドリと次々に確認、快調なペース。途中Y Yバルクチームと出会い、余裕をもって挨拶を交わす。

ところが何と、当然ここにカワガラスがいるはずのところに釣り人がいて、カワガラスがいない。え、ウッソー、じゃあ途中もっと丁寧に探しながら来れば良かったと思って最後の祭り。つまずきのはじまり。

都内東久留米市の小学生たちのオープンチーム、ホークイーグルスと出会い激励を交わしつつも、カケスがでない、こまったなあ。

関越自道車道を戻り、川本町明戸堰で、今井明巨幹事心尽しの差し入れ弁当を食べながらも、あてにしていたカワセミがでない、イソギがいない、どうなっているんだ。

鶴ヶ島町の高倉の林で宮内武昭さんの案内をいただくが、思ったようには鳥が出ない。

心を残して時間切れ。川越市のイベント会場に車を走らせる。

午後2時、川越市社会福祉協議会主催『しあわせ広場』ではチームの入場にあわせて花火がなって、ステージのうえで花束贈呈、挨拶と、はなやかにバードソンをPRし、その後もテレビの取材につきあう。

午後5時、浦和市の県庁前にもどり、出迎えてくれた会員たちと記念撮影（左上）、事務局でビールでかんぱあい。

走行距離419キロ。途中思うようにいかなかった部分もあるしつかれたけれど、やってみて実感、バードソンっておもしろい。

確認種数72種は、公式20チームのうち15位だが、広くバードソンを人々に知らせる役目は十分にはたしたし、N T T埼玉支社のご協力もあって、募金申込み者数は予想を上まわった。ご支援くださった大変多くの方々に心からお礼申し上げます。本当にありがとうございました。



Y Yバルクチーム：山部直喜（キャプテン）・草間和子・横山みどり・松本礼子・森本國夫（支援運転者）

Y Yバルクは、なんと公式チームを抜いて78種。やったね。夜は男2人を車の外にほうりだして地面のうえに寝かせちゃうし、いろいろワイワイ楽しかった。オープンチームでよかった。



61年の探鳥会と俳句

諸徳寺六十五（大宮市）

先日、鳥の句を整理して、探鳥会の様子が思い出され、とても楽しかった。中でも物見山のオオタカとの出逢いなど忘れられません。61年の探鳥会を思い出し乍ら、その時の拙句を綴り、探鳥会へと、句材させて貰った鳥さん達に御礼としたい。

先ず正月の浮間公園へ参加した時、アカハジロも出ましたが、荒川土手で間近にコミミズクを観察。私には初めてのことでした。

“ 枯る野に金の目をして小木菟 ”

春が近づくと、あちこちで畦焼の煙が立ちます。早春の探鳥会はムクドリも又良し。

“ 椋鳥の畦焼きし跡掻いてをり ”

4月の秋ヶ瀬でヒレンジャクの群を見る。余りにも美事で、考えても物にならず。公園に来る前に土手から聞こえたコジュケイ。

“ 小綬鶏の声せる藪の青みけり ”

渡良瀬へ行ったとき、柳生駅近くの田植準備の泥田にムナグロの群。

“ 胸黒千鳥（むら）の冬羽も居て田植時 ”

五月の軽井沢は寒かった。タクシーを降りた小瀬林道入口は真暗。ヨタカが直ぐ近くで啼いている。白み出した樹上をジュウイチ（慈悲心鳥）が飛ぶ。林道で出た、アカシヨ

ウビンが！先行を呼びに走ってくれたリーダーさん有がとうさんでした。

“ 夜鷹聞き探鳥の会未明より ”

“ 赤翡翠梅雨入りの霧にまぎれなし ”

越ヶ谷ヘシラコバトを見に行きました。古利根川の出水の跡が生々しかった。

“ 霞切の楊に騒ぐ梅雨出水 ”

カッコウが増えました。今年はどうかな？その時は家の中に居て、間近なカッコウの声に庭へ出てみると、家のテレビアンテナに居た。私の近く（大宮市大和田町）では、聞き始めが5月19日で、終りが8月14日でした。

“ 郭公にコーヒー茶碗持ちて立つ ”

“ 郭公啼く宮の老杉暮れなづむ ”

真夏の谷津。シギ、チドリを見に。ここはいつ行っても感激。

“ 上げ潮に追はれ鳴翔つ秋の風 ”

しかし、余り暑いとこの様になります。

“ 野鳥テープ廻しゴロ寝の残暑かな ”

10月に鳩山の物見山でオオタカの勇姿。プロミナの三脚が震へた。

“ 大鷹の鋭眼冷気たたへたり ”

“ 大鷹に枯れ果てし谷静まれり ”

冬の柳瀬川にタゲリの光る田の面、

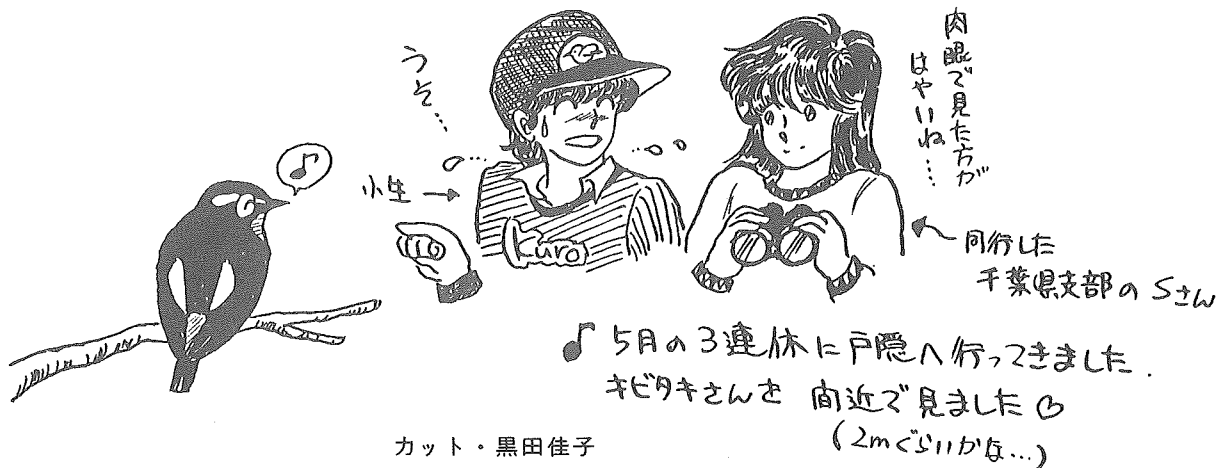
“ 七彩に田の輝くは田鳧ある ”

“ 田雲雀の土塊叩き土に消ゆ ”

最後に三室で、コサギさんに一句

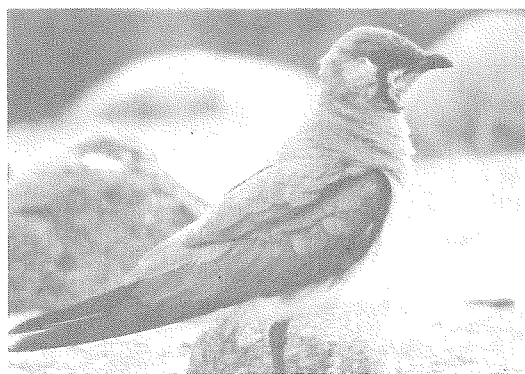
“ 舞い降りし鶯は染らず草紅葉 ”

鳥さんありがとう御座いました。62年もよろしく願います。



野鳥情報

- アマサギ** ◇4月29日、幸手市上吉羽上空で6羽(秋間利夫)。◇4月29日、幸手市中原で14羽(秋間利夫)。
- カルガモ** ◇5月26日、浦和市三室の芝川で12羽のヒナを連れた親子連れ(中村博志)。
- コガモ** ◇5月11日、浦和市の白幡沼での終認(海老原美夫)。
- ホシハジロ** ◇5月5日、川本町の植松橋下流の芝川で♂1羽(逸見隆典)。
- サシバ** ◇4月29日、横瀬町生川で1羽(西田賢治)。
- バン** ◇5月5日午前9時、浦和市の白幡沼で親鳥2羽が3羽のヒナを連れ歩く(海老原美夫)。
- タマシギ** ◇5月15日、幸手市中原で♂1羽(秋間利夫)。◇5月16日、大宮市指扇で♀1羽(松井昭吾)。
- ムナグロ** ◇4月29日、熊谷市大麻生で40羽以上(今井明巨)。◇5月9日、幸手市上吉羽上扇で38羽(秋間利夫)。◇5月3日、杉戸町遠野で40羽(秋間利夫)。
- キョウジョシギ** ◇4月29日、熊谷市大麻生で6羽(今井明巨)。
- キアシシギ** ◇5月3日、杉戸町遠野で8羽(秋間利夫)。◇5月5日、本庄市の阪東大橋下流で1羽(北川慎一)。◇5月9日、幸手市上吉羽上扇で2羽(秋間利夫)。
- チュウシャクシギ** ◇5月3日、杉戸町遠野で2羽(秋間利夫)。◇5月4日、幸手市



ツバメチドリ(撮影・石川 修)

- 中原で2羽(秋間利夫)。
- ツバメチドリ** ◇5月5日、本庄市の阪東大橋下流で1羽(北川慎一)。◇5月5日、熊谷市の荒川、明戸堰上流で1羽(諏訪久)。
- カッコウ** ◇5月20日、大宮市土呂の神明の老杉の上で鳴く(諸徳寺四郎)。◇5月20日、川越市下広谷で1羽(鈴木暁子)。◇5月22日、浦和市大間木で1羽(大武昭合子)。
- アオバズク** ◇5月16日、大宮市北袋町で2羽(浅沼源太郎)。
- ハリオアマツバメ** ◇4月22日、秩父市山荘で20羽以上(西田賢治、矢島慎一)。
- ブッポウソウ** ◇4月29日、秩父市の秩父神社で1羽(西田賢治)。
- アオゲラ** ◇5月5日午後2時、日高町高富の林で1羽(正藤憲一郎)。
- コゲラ** ◇5月15日、新座市の自宅付近で繁殖する(石井和雄)。
- ホオジロハクセキレイ** ◇5月10日、本庄市の阪東大橋下流で1羽。過眼線がなく顔が真白で、首の黒が大きい(北川慎一)。
- チゴモズ** ◇5月5日、秩父三峰ロープウェイ駅付近で1羽(山岸昭治)。
- ヒレンジャク** ◇4月11日、秩父市の羊山公園で3羽(町田昭紀)。
- コルリ** ◇4月29日、横瀬町生川で1羽(西田賢治)。◇5月13日、上福岡市川崎のボブラの樹に1羽(石井清澄)。
- アカハラ** ◇4月25日、北本市石戸宿で1羽(北川慎一)。◇4月27日、東松山市の自宅のそばの雑木林で1羽(渋谷正之)。
- ヤブサメ** ◇4月29日、横瀬町生川で1羽(矢島慎一)。
- コヨシキリ** ◇5月13日、川越市牛子の新河岸川のアシ原で1羽(石井清澄)。
- オオヨシキリ** ◇4月19日、本庄市の阪東大橋下流で初認(北川慎一)。◇4月24日、浦和市の惣持院下の田んぼで鳴く(大武昭雄)。◇4月29日、川越市小堤小畔川で1羽(鈴木暁子)。◇4月29日、浦和市大谷口の遊水池のアシ原で2羽(近藤 崇)。◇5月3日、熊谷市石原で鳴く(今井明巨)。

◇5月3日、幸手市上吉羽上扇で1羽(秋間利夫)。◇5月18日、越谷市千間台駅東口の空地で電線にとまっていたオオヨシキリが、アソも草もない地面と電線を行ったりきたり(神場真文)。

センダイムシクイ ◇4月16日、熊谷市大麻生の森で1羽(山口輝雄)。◇5月5日午前9時、浦和市秋ヶ瀬のピクニックの森で、元気にさえずる(福井 亘)。

ホオアカ ◇5月22日午前5時30分、浦和市三室の芝川にかかる水道橋の上に♂1羽。5分間位とまっていた(簗輪真澄)。

セッカ ◇4月5日、浦和市大谷口の遊水池のアソ原でさえずり飛翔(近藤 崇)。

クロジ ◇4月21日、熊谷市大麻生の森で♂

♀各1羽(渡辺 敦)。

キビタキ ◇5月5日午前9時、浦和市秋ヶ瀬のピクニックの森で♂1羽。目の前5mの枝にとまりさえずる(福井 亘)。

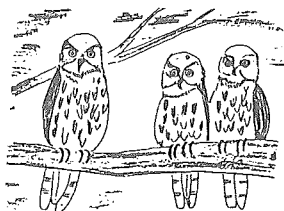
オオルリ ◇4月29日、横瀬町生川で♂1羽(矢島慎一)。

サンコウチョウ ◇5月12日、川越市砂新田の林で♂1羽(石井清澄)。◇5月13日、三芳町の多福寺でさえずる(木村義人)。

オオジュリン ◇4月12日、浦和市大谷口の遊水池のアソ原で2羽(近藤 崇)。

シメ ◇5月8日、浦和市大間木の自宅の庭での終認(大武昭雄)。

コムクドリ ◇4月29日、本庄市の阪東大橋下流で8羽(北川慎一)。



カット
今井明巨

【7月のみどころ】

7月は、暑い日が続き、緑もすっかり濃くなって、野鳥達も今までほど活発に動きません。バードウォッチングには良い時期といいいにくい月ですが、周りを見回しますと、軒下に巣をかけているツバメは、最初のヒナを無事巣立たせた後、休む間もなく2番仔を育てている頃です。野山では、今年生まれの若い鳥達が目につくようになります。大きさは、親とほとんどかわらないのですが、どことなく幼さが残っているので、見ればすぐにわかんと思います。

雑木林の中で、あまえるような鼻にかかった「ピーピー」という声が、まわりでたくさん聞こえたら、それは、たぶんシジュウカラの子供達です。

また、水辺に行きますと、カイツブリの親子や、用心深く歩き回るパンの親子に会えるかもしれません。アソ原でにぎやかにさえずるオオヨシキリも、少し気をつけてそーと

表紙の写真

オナガ(カラス科)

埼玉ではわりと普通に見られるオナガ。でも、世界的にみると珍鳥の部類に入るそうです。普通に見られると、「なーんだ、オナガか。」といってパスしてしまうことが多いのですが、よく見るとなかなかおしゃれ。カモ

を写そうと、ブラインドの中で待っていたらギャーギャーと水を飲み近くまで寄って来たので写してあげました。シャッターの音に「なんだ?」と振り向いたところです。

(写真と文・登坂久雄)



三芳町・多福寺探鳥会

期日：7月5日(日)

集合：午前8時45分 東武鉄道上福岡駅西口

または午前9時30分 多福寺駐車場

交通：川越線大宮7:54発→川越8:13着、
東武東上線乗換え8:23発→上福岡8:
29着／武蔵野線南浦和8:11発→
北朝霞8:22着、東武東上線乗換え、
朝霞台8:29発→上福岡8:42着
(上福岡駅からバスを利用)

解散：午後1時ごろ

担当：藤原寛治、福井恒人

見どころ：雑木林の初夏。青々と繁った木々の間に、小鳥達の巣立ちびなの声が響きます。葉と葉の間をよく探してみましょ。翼をたらし、体を震わせて親鳥に餌をねだる甘えん坊の姿が見えるはず。元気で大きくなるんだよ、と声をかけてみませんか。

坂戸市・高麗川探鳥会

期日：7月11日(土)

集合：午前9時 東武鉄道川角駅前

交通：川越線大宮7:35発→川越7:54着、
東武東上線乗換え8:08発→坂戸8:
22着、東武越生線乗換え8:39発→川
角8:47着／東武東上線朝霞台7:
49発→坂戸8:22着、以下上に同じ

解散：午後2時ごろ

担当：中島康夫、楠見邦博

梅雨明けも近づき、むし暑さもひとしおに。でも、こんな季節だからこそ、雑木林に、河原に、探鳥会に。鳥達の親子のほほえましい姿が涼しい風を誘います。

持ち物は、筆記用具、雨具、昼食、ゴミ袋、(もしあれば)双眼鏡などです。

参加費は、一般=100円、会員及び中学生以下=50円。予約申し込みは必要ありません。小雨決行です。

夢中になり過ぎて、鳥を驚かしたり、植物を荒らしたりなどしないように。いつもフィールドマナーをお忘れなく。

見どころ：梅雨明け間近、そろそろ河原遊びの季節(Ⅰ)。夏の日差し輝く水面をカワセミの光が走ります。軍艦カイツブリはひなをのせて航行中。一足早い夏を見つけにおいで下さい。



川本町・大麻生明戸探鳥会

期日：7月12日(日)

集合：午前9時30分 秩父鉄道明戸駅前

交通：高崎線大宮8:07(または8:15)発
→熊谷8:53(または8:59)着、秩
父鉄道乗換え9:04発→明戸9:16着
／東武東上線川越7:38発→森林公
園乗継ぎ→寄居8:45着、秩父鉄道乗
換え9:01発→明戸9:15着

解散：午後1時ごろ

担当：鈴木忠雄、今井明巨

見どころ：梅雨明け間近、そろそろ河原遊びの季節(Ⅱ)。川面に映えるカワセミのブルーは一服の清涼剤。ササゴイの魚釣りは今年も見られるかな。水鳥の親子連れは今年も楽しめます。なお夏の間は大麻生の隣の明戸で行ないます。

浦和市・三室地区定例探鳥会

期日：7月19日（日）

集合：午前8時15分 北浦和駅東口 または
午前9時 浦和市立郷土博物館前
（北浦和駅の場合、その後バス利用）

解散：午後1時ごろ

共催：浦和市立郷土博物館（参加費無料）

担当：楠見邦博、福井恒人、渡辺周司

見どころ：繁殖期の最後のにぎわいを楽しみに
に行きませんか。親と変わらない大き
さになったカルガモの子も独立間近。
オオヨシキリの怒鳴り声も今月まで。
アシ原にはツバメが集まり始めます。

『しらこぼと』袋づめの会

とき：7月25日（土） 午後1時～3時ごろ

会場：浦和市立コミュニティーセンター2階
第2和室（浦和駅西口から県庁通りを
西進、中山道を左折して約600m右側）

案内：恒例となった袋づめの会。あなたもた
まにはのぞいてみませんか。肩のこら
ない気楽な会です。

野鳥写真クラブ定例会

とき：7月25日（土） 午後3時ごろ～5時

会場：『しらこぼと』袋づめの会と同じ。

案内：どなたも気軽に自由においでください。
ただ見て楽しむもよし、写真の写し方
を聞くもよし。スライドを見せてくれ
る方歓迎。

初級シギ・チドリ類識別講座

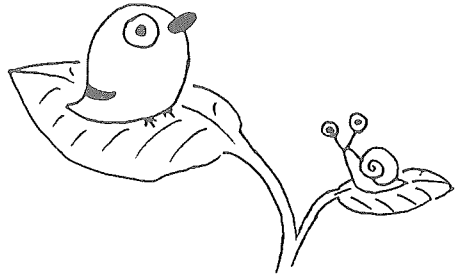
期日：7月26日（日）

会場：浦和市立コミュニティーセンター2階
第1和室（道順は上に同じ）

時間：午後2時開演、午後5時閉会

講師：園部浩一郎 本部総務部長

案内：焼けつくような真夏の太陽の中、早く
もシギ・チドリ類は秋（？）の渡りを
始めます。互によく似ていて鳥見人
泣かせの彼等について、野鳥識別の鬼
・園部氏がやさしく識別の解説をして
下します。初心者の方、大歓迎！



川本町・大麻生明戸探鳥会

期日：8月9日（日）

集合：午前9時30分 秩父鉄道明戸駅前

交通：高崎線大宮8：07（または8：15）発
→熊谷8：53（または8：59）着、秩
父鉄道乗換え9：04発→明戸9：16着
／ 東武東上線川越7：38発→森林公
園乗継ぎ→寄居8：45着、秩父鉄道乗
換え9：01発→明戸9：15着

解散：午後1時ごろ

担当：鈴木忠雄、今井明巨

見どころ：秋のさきがけを探してみませんか
（Ⅰ）。一年中で一番暑い時期ですが、
野鳥の世界では既に「秋」が始まって
います。河原にはシギ・チドリ類の第
一陣が到着、林にも山の夏鳥が下りて
きているでしょう。

浦和市・三室地区定例探鳥会

期日：8月16日（日）

集合：午前8時15分 北浦和駅東口 または
午前9時 浦和市立郷土博物館前
（北浦和駅の場合、その後バス利用）

解散：午後1時ごろ

共催：浦和市立郷土博物館（参加費無料）

担当：楠見邦博、福井恒人、渡辺周司

見どころ：秋のさきがけを探してみませんか
（Ⅱ）。そろそろ空にも秋の色が見え
るころ。河原にシギ達のさびしげな声
が響き始めます。林縁には今秋もコム
クドリが立ち寄っているでしょう。

（見出しイラスト＝鈴木加代子）
カット ＝ 鈴木高士

行事報告

5月3日(日) 寄居町 鐘撞堂山

人 55人 天気 曇 鳥 カイツブリ コサギ トビ サシバ コジュケイ キジバト アカゲラ コゲラ ツバメ キセキレイ セグロセキレイ ヒヨドリ ヤブサメ ウグイス センダイムシクイ キビタキ シジュウカラ メジロ ホオジロ アオジ カワラヒワ イカル シメ スズメ ムクドリ オナガ ハシボソガラス ハシブトガラス(28種)。キビタキ、センダイムシクイ、ヤブサメなど夏鳥の囀りが聞かれ、サシバが飛ぶのも見られた。リーダーも驚くくらい参加者が多かったので鳥も驚いたのか、期待のオオルリは現われなかった。

5月9日(土) 栃木県矢板市 箒川

人 14人 天気 晴 鳥 カルガモ コガモ チョウゲンボウ キジ イソシギ キジバト アマツバメ カワセミ ヒバリ ツバメ キセキレイ ハクセキレイ セグロセキレイ ヒヨドリ ホオジロ カワラヒワ スズメ ムクドリ オナガ ハシボソガラス ハシブトガラス(21種)。天候に恵まれ、楽しく過ごせたが、河原で砂利採取が行われたため、例年に比べてチョウゲンボウのひながかえるのが7~10日遅れ、残念ながらよく見えなかった。

5月10日(日) 蓮田市 黒浜沼周辺

人 29人 天気 晴 鳥 カイツブリ ゴイサギ アマサギ ダイサギ コサギ カルガモ コジュケイ バン コチドリ ムナグロ タカブシギ キアシシギ キジバト コゲラ ヒバリ ツバメ ヒヨドリ モズ ツグミ オオヨシキリ セッカ カワラヒワ スズメ ムクドリ オナガ ハシボソガラス ハシブトガラス(27種)。季節は春から夏へ。夏のような陽気の中、田植えの準備で忙しい農家の人も会話を楽しみながら歩いた。コースの最後は、サギのコロニー。昼間はお休みのゴイサギがたくさん、あとの種類はお出かけ組が多かった。

カルガモ コジュケイ キジ コチドリ イカルチドリ アオアシシギ イソシギ コアシサシ キジバト ヒバリ ツバメ イワツバメ ハクセキレイ セグロセキレイ ヒヨドリ モズ ウグイス オオヨシキリ セッカ メジロ ホオジロ カワラヒワ スズメ ムクドリ ハシボソガラス ハシブトガラス(28種)。真夏を思わせる天気になて気味の参加者の上をコアシサシがすーいすーい。アオアシシギも群れて飛んだ。

5月10日(日) 本庄市 阪東大橋

人 8人 天気 晴 鳥 カイツブリ ダイサギ コサギ カルガモ コガモ トビ ウズラ コジュケイ キジ コチドリ イカルチドリ シロチドリ ハマシギ イソシギ タシギ ツバメチドリ コアシサシ キジバト カワセミ ヒバリ ツバメ ホオジロハクセキレイ セグロセキレイ ヒヨドリ モズ オオヨシキリ セッカ ホオジロ カワラヒワ スズメ ムクドリ ハシボソガラス ハシブトガラス(33種)。阪東大橋は面白い。今回は、なんとツバメチドリとホオジロハクセキレイを全員で堪能。そして萩原リーダーが腕をふるったたっぷり具の入った“そうめん”を肴に鳥談義。アットホームな“そうめん探鳥会”は盛り上がった。



阪東大橋“そうめん”探鳥会

5月10日(日) 熊谷市 大麻生

人 11人 天気 晴 鳥 カイツブリ コサギ

5月10日(日) 浦和市 秋ヶ瀬

人 44人 天気 晴 鳥 コサギ マガモ カ

ルガモ キジ コチドリ ムナグロ タカブシギ
キアシシギ チュウシャクシギ タンギ キジバト
ヒバリ ツバメ ハクセキレイ ヒヨドリ モズ
オオヨシキリ セッカ シジュウカラ ホオジロ
カワラヒワ スズメ ムクドリ オナガ ハンボソ
ガラス ハシブトガラス(26種)。テレビ埼玉の取材
も受け、ムナグロやチュウシャクシギなどを楽しむ。

5月17日(日) 浦和市 三室地区

人 24人 天気 雨一時曇 鳥 コサギ カル
ガモ コジュケイ コチドリ イソシギ キジバト
ヒバリ ツバメ イワツバメ ヒヨドリ オオヨシ
キリ セッカ シジュウカラ ホオジロ スズメ
ムクドリ オナガ ハンボソガラス ハシブトガラ
ス(19種)。雨には雨の風情がある。とは言うものの、
早目に切り上げて、室内でスライドの勉強をした。

5月17日(日) 大滝村 三峰周辺

人 43人 雨天になり秩父愛鳥会のビデオを見る。

5月23～24日(土、日) 長野県 軽井沢

人 44人 天気 晴 鳥 カルガモ トビ タ
カSP キジ キジバト ジュウイチ カッコウ
ツツドリ ホトトギス ヨタカ アマツバメ アオ
ゲラ アカゲラ コゲラ ツバメ イワツバメ キ
セキレイ ハクセキレイ セグロセキレイ ビンズ
イ ヒヨドリ モズ カワガラス ミソサザイ コ
ルリ マミジロ トラツグミ クロツグミ アカハ
ラ ヤブサメ ウグイス メボソムシクイ キビタ
キ オオルリ コサメビタキ エナガ コガラ ヒ
ガラ ヤマガラ シジュウカラ ゴジュウカラ ホ
オジロ アオジ イカル スズメ カケス オナガ
ハンボソガラス ハシブトガラス(49種)。駅に降り
立つと直前までの雨が止み、小瀬林道の出発点に着
いて空を見上げると星が見えた。夜明けが近づくと、
すばらしい野鳥のコーラスが始まった。マミジロ、
ヒガラ、ミソサザイ……、聞き惚れていてふと気が
つくと、すっかり夜が明けていて、雨に洗われた木
々の新緑が目にしみるようだった。

参加者の声

阪東大橋“そうめん”探鳥会

林 滋(美里町)

バードウィーク初日、リーダーの話ではツバメチ
ドリが見られるらしい。心はずませ備前渠用水伝い。
オオヨシキリやセッカ、ヒバリなど河原はにぎやか。
やがて坂東太郎の本流中洲、右手前方でリーダーの

声。ツバメチドリがいる。そして集合地。なんとホ
オジロハクセキレイ。車の中のカメラを取りに走る。

各地で行われている行事の影響で小人数の探鳥会。
でも内容はすばらしい。鳥合わせの後、ご厚意のそ
うめんを御馳走になり、コアジサシの飛び交う夏日
となった河原の日差しの中で十分堪能した。

黒浜沼のサギ氏達

吉本富美子(清瀬市)

広辞苑によると、『五位鷺＝醍醐天皇が神泉苑の
御宴の折、五位の位を与えた故事により名づけた。
(中略)幼鳥を星五位(ホシゴイ)という。』とあ
る。どうやら気位の高いサギと見える。そのサギを
じっくり見たくて、やって来ました黒浜沼。

それは突然出現した光景に思われた。道端にすぐ
続いている林の中に、ゴイサギの親子が、兄弟が、
従兄弟が、又従兄弟もいるに違いない。錯綜した梢
を漏れる逆光を背負って、ルビーを嵌め込んだよう
な目玉が、大雑把に組んだ、透間だらけの巣の傍に
あった。

成鳥の背面は青灰色、下面は白、黄色い足、そし
て茫洋とした風采を引き締めているポイントは、何
といっても赤い目玉である。どうしてどうして、な

かなかのしゃれもんでないと出せないトーンである。

背中を丸めて、じっとして、首を動かすこともな
い。見ている方が肩が凝る。その姿はわが主人のそ
れと、どこか似ていると思われ、話し掛けると、言
葉が返ってきそうな雰囲気である。

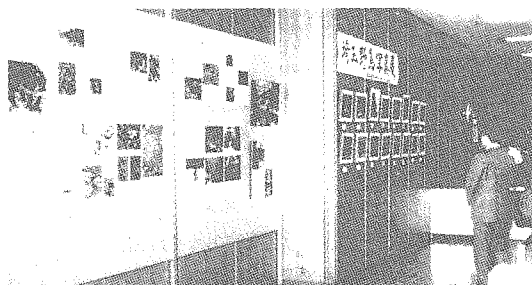
しかし、主人の白いヒゲは、アゴに垂れているが、
ゴイサギは長い白い毛を、頭の後ろに垂らしている。
コサギは前に垂らしているが、勿論主人はあんなに
優美な姿ではない。

ゴイサギは、一体何を考えているのだろうか。今
夜のおかずの、リクエストの一品を考えていると思
われるのは主人のことだが、サギ氏も案外、そんな
ところかも知れない。あの平べったい頭の中のスク
リーンには、今夜の主食の魚が、何尾か投影されて
いるかも知れない。大方そんなことだろうと考えた
ら、私の頭の中にも魚が浮かんた。

帰りにスーパーで、主人の好きなサバを買った。



ロングランのパネル展終了



3月2日から浦和市常盤の足利銀行浦和支店ロビーで開かれていた野鳥写真パネル展(写真上)が、5月の初めに終了しました。

2ヶ月にわたるロングランでしたが、その間銀行を訪れたたくさんの人々が熱心に見入る光景が見られ、大きな成果をあげることができました。

ご寄付ありがとうございます

次の方からご寄付をいただきました。

笠井 実さん 20,000円

会員数は

6月20日現在729人です。

活動報告

5月1日～16日 総会に備えて、役員会準備作業

5月7日 N T T 埼玉支社にてバードソンに

ついて打ち合わせ。

5月16日 事務局にて研究部会議。

5月17日 浦和市三室地区探鳥会のあと、同地区おぶさと会館にて、編集部会議、総務部会議、普及部会議、役員会議(各部の報告、野鳥写真の有料貸出しについて、総会の来賓について、総会議案の原案について検討、次年度役員体制について、今後の役員会開催地について、その他)。

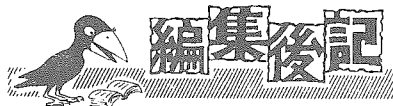
5月18日～6月6日 総会準備作業。

5月28日 マツダ(株)からバードソン用車両両借出しのため、都内港区へ(福井、海老原)。

5月29日 N T T 埼玉支社にてバードソンについて打ち合わせ。

5月30日 バードソン用自動車電話借出しのため、都内千代田区へ(海老原)。

6月1日 バードソン用車両と自動車電話返還のため、都内港区と千代田区へ。バードソン結果報告などのために本部へ(福井、海老原)。



オープンエントリチームの運転手役としてバードソンに参加した。のんびりと鳥を見るはずが、ゴールが近づくと、もう一ヶ所! などとその気になって走り回ることになったのは、ゲームの要素があるからだろうか。思いがけず見られた鳥、どうしても見られなかった鳥。日光で寝袋にくるまって見た星空、夜明け前から始まった野鳥のコーラス。静かな山に座り込んで見たフクロウの子。忘れられない思い出になりそうだ。(森本國夫)

題字『しらこぼと』: 日本野鳥の会会長・山下静一

(イラスト風見出し・鷹尾正斉)

『しらこぼと』

1987年7月号(第38号)
発行人 今井昌彦

頒価100円(会費に含まれます)
発行所 日本野鳥の会埼玉県支部

発行所事務局 〒336 埼玉県浦和市岸町4丁目26番8号 プリムローズ岸町107号

電話 0488(32)4062

郵便振替 東京9-121130 銀行振込口座 埼玉銀行浦和支店普通預金316990

印刷所 望月印刷株式会社

(無断転載を禁じます)